

令和4年度 第2回八幡地域協議会会議録（概要版）

日 時 令和4年8月29日（月）午後6時30分～午後8時15分
場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室
出席者 9名
1号委員 阿部 誠子 池田 香 池田満好 信夫 効次
後藤俊一 小松久美子 佐々木 アキ
2号委員 小松幸雄 高橋 知美
欠席者 4名
1号委員 井上 誠 荒生 明美 池田 修 土井 隆博

八幡総合支所 支所長 池田 裕子、支所長補佐 加藤 裕昭 阿曾 敏

議事日程 1 開 会
2 会議録署名委員の選出
3 会長あいさつ
4 協 議
（1）委員提出案件について
5 その他
6 閉 会

【協議の概略及びその結果】

今回は、委員から先に提出いただいた提言・要望について、委員から内容の説明をいただき、その後その案件に対して市の考えを説明した。

1 開 会

○事務局 委員4名の欠席を報告

2 会議録署名人指名

○事務局 委員名簿順に指名することになっているので、8番の小松久美子委員にお願いします。

3 会長あいさつ

○池田会長あいさつ

4 協 議

- 議長** 委員の皆様から出された案件に対して、当局の説明を聞きながら協議を行う。
- 阿部委員** 八幡体育館のことだけでなく、八幡地域全体の本当に実現可能な計画を出していただきたい。それから、松山地域への資本投下と八幡地域のその差は何故なのか。
- 支所長** 新酒田市は合併後17年が経過しており新市としての一体感が醸成されてきているものと考えている。酒田市全体として重要なもの、必要なものを整備してきた。この考えに則って優先順位をつけて事業を行ってきた。昨年度は、過疎計画を策定する際に、地域住民にアンケート調査を行い、ワークショップを開催したり広く地域住民の意見を伺ってきた。今後も地域から要望の声を挙げてもらい本所の方に伝えていきたい。また地域協議会や各種団体の要望も当局側に伝えていく。

他地域との比較でのご意見を頂いたが、基本は真に必要なものを整備してきたということになる。松山の小学校は内郷小学校の建設は合併前に決定しており、その後急激な児童数の減少に伴い統合小学校が建設された。八幡地域においても合併後にタウンセンターの改築を行っている。ハード面の整備も重要であるが、今後は市全体で財政的には一層厳しくなることが予想される。八幡地域で安心安全に暮らしていくためには、ソフト面についても、例えば地域の在り方や支援の仕組みづくりについても地域の皆さんと協議していきたい。
- 議長** 年度末に1回市長に地域協議会の取りまとめの報告会をしているが、実現した案件も少なく、これからも賽の河原の石積みと考え継続案件として発信していく。議員の方々の中でも知っている人もいると思うが、八幡地域は都市計画税が課されている。松山平田地域は都市計画税が課されていないことも知っておいていただきたい。
- 池田香委員** 荒瀬川の護岸整備は、一條地域より上流部は中洲の撤去等終わっているので、一條より下流部の護岸整備の検討をお願いしたい。
- 議長** このことは、酒田市から大きな声で県の方に要望して貰わないといけない。酒田市としてはどのように考えているか。
- 加藤補佐** 整備課の方で各支所等のことも含めて、県の河川砂防課に要望している。道路関係については道路計画課の方と打合せを行っている。今年度も5月に要望を行っている。整備が残っている箇所については、引き続き要望している。八幡橋より下流については、要望書の中に入っていないと記憶している。
- 後藤委員** 中山間地の年齢構成が高くなっている。特に今年は雪が多く大変だった。市の助成は使っていると思うが、これ以上過疎化が進めばどうなるか市の方では考えているのか。助成金だけではなく人的な面でどう考えているか。主要道路は除雪されているが、支線はかなり大変な状況。このことも考えていただければ助かる。
- 支所長** 市全域で新たな除雪への支援を望む声は高まってきている。今年の市議会での市長の答弁中で、地域の消防団を活用する方法はないかや、まちづくり交付金を活用する中で地域の皆さんへお願いしていきたいなどの話もあった。今までは、やさしいまちづくり除雪援助事業という隣近所の玄関から道路までの除雪を行うボランティア活動をお願いしてきた。これからは、地域の方ではなく地域以外の方、企業や団体から協力をお願いでき

ないか呼びかけていくことを検討している。ただ、ボランティア活動であり、どのくらいの方が協力していただけるのか見通せない状況。いつもよりは早めに情報の周知を図っていく。当地域では、屋根の雪下ろし等は地域で協力して年に1・2回行っていただいているという先進的な取り組みもされているので、この様なアイデアを市全体の取り組みとすることはできないかも検討していきたい。

○**信夫委員** 今の除雪は機械が無ければ高齢化で無理になってきている。そういうわけで機械の貸与等の仕組みを作って地域に普及させ活用してもらおうという制度が重要。地域が自由に使える除雪機を貸与するなどの仕組みが必要。

○**議長** 一つの施策として、沖縄県等から雪下ろし体験ツアーをすれば、みんな面白く一所懸命に雪下ろしをする。そういったことも考えていかなければならない。

○**議長** 池田修委員は欠席だが、一つは、家族旅行村にはキャンプ場があるが古臭いので周辺一帯を全国に誇れるキャンプ場にリノベーションしたらどうか。ノウハウ等が不足するのなら「株スノーピーク」を誘致し東北 NO.1 のキャンプ場をつくれば、ジオパークの拠点とすることもできる。もう一つは八幡地域には幼児の遊び場が無いのでコミセン内に無料の遊び場を作り、保護者や子供たちに開放し同世代のコミュニケーションを図れる場所づくりの検討をお願いしたいというもの。

○**支所長** 家族旅行村に関して、最近のキャンプブームに注目して、昨年4月に管理棟の奥の芝生を活用し、Wi-Fi も使えるように整備を行った。それにより繁忙期のテント泊利用客も増加した。利用者は昨年の5割増し程度になっている。旅行村周辺のリノベーションについては、ノウハウや資金面からも大手企業が取り組むことは大変有効と考える。ただ全国的にも同じように考えているところは多くあると思う。ご提案頂いた「株スノーピーク」の誘致含めて様々な手法を検討していきたい。

二つ目のことについては、コミセンを利用するというのであれば、地域の方であれば無料で利用することができるので、ぜひ保護者や子供達がコミュニケーションを図る場所としてどんどん利用していただきたい。市全体では35カ所のコミセンがあるが、そのすべてに室内型遊具を設置するということは考えていないが、事業やイベントを開催したり、簡易的な遊具であれば各コミ振と相談していただき行うことは可能と考える。総合支所としては、地域からの要望があればどのような形でできるか、地域の皆様や各コミ振、酒田市関係各所と協力しながら検討していきたいと思っている。

○**高橋副会長** 支援センターで子供を遊ばせることはできるが少し大きくなると行きにくい。たとえば空いている部屋を誰でも楽しめる育児ができる場所として開放していただければならとても良いと思う。常に開放されている場所があるということを提供できるようにしていただければありがたい。

○**小松委員** 八幡地域には開業医がないので、八幡クリニックが無くなると大変困る。医師の確保や受診者の減少等課題はあるが、八幡地域が無医地域としないようにしていただきたい。また、今年は各地で豪雨災害が起きているが、昨日なかったところに石があったり流木等も引っかかりしている。日頃のパトロール等を行っていただき管理ができないものか。災害を未然に防止するようにしていただきたい。

- 支所長 八幡クリニックは、八幡地域における持続可能な医療提供体制を構築することを目的に、平成30年に日本海総合病院を運営する山形県・酒田市病院機構へ移管統合したものの。医療提供体制を協議する場として、地域住民や各種団体と行政の代表者を委員とする「日本海八幡クリニック等を考える会」を毎年開催している。今後も病院機構と連携して、八幡地域の持続可能な医療提供体制の維持に取り組んでいく。
- 加藤補佐 河川の掘削等については県の河川砂防課の方で行うことになる。川の中の大きな岩についてはどけるということとはなかなか難しい。
- 議長 二級河川の日向川と同じく荒瀬川も県の方でやることになる。
- 支所長 この前の大雨の時も支所でパトロールを行い、河川等の状況を確認している。危険箇所等については要望を挙げていきたい。
- 佐々木委員 災害が起きないということはないので、その時にどう対処するのか、どうすれば自分の身を守れるのか普段から身につけておく必要がある。そのためには事前の訓練で皆が学ぶ必要がある。
- 議長 自分の区では、避難が終了した家の玄関に「済」という紙を貼るようにしている。そうすれば消防団とか見回った時に、「この家は避難が終わっている。」ことが一目でわかる。
- 信夫委員 市では、自治会単位で自治会長が主となって、今年から3年計画で避難計画をたてるように指導しているが、ほとんどの自治会は2年で会長が交代する。そうすると計画の継続性が無くなってしまう。災害対策は継続していかなければならないので、その計画がわかる人が主となっていただく方式をつくっていかないとダメ。市内では防災組織が自治会とは別にあるが、八幡松山平田では、すべて自治会が行っているので、なんとか防災組織をつくらないかと言っている。別組織をつくらない地域防災は長く続かない。そのための要はコミセンだと思う。
- 支所長 今年からの防災訓練は、コミ振や地域が主体となって臨機応変に防災訓練を行ってその中でわかったことを次年度以降に生かすということをしていくことで、実際に災害時の対応を身につけていただくようにしている。八幡では、自律的に開設運営できる避難所開設までを自主訓練として計画している。

5 その他

- 議長 9月10日にフードトラックフェスティバルを開催するので、よろしく。

6 閉会

- 高橋副会長閉会